

教育目標

自ら学ぶ子 思いやりのある子 たくましい子

飯小は、この教育目標を理念に、「共に育ち、共に生きる 地域の学校」を目指します。

学校だより

上越市立飯小学校

明治9年8月17日開学

第4号 R2. 6. 15

5月20日から通常登校を開始しもうすぐ1か月です。学校では、これまでの学習の遅れを取り戻すため、カリキュラムを見直し、指導内容の重点化を図るとともに、ICTを活用し分かりやすい授業を進めるよう取り組んでいます。

また、学校行事も3密回避の観点から内容や実施時期について見直しを行いました。下記に示す点につきましては、PTA 会長や学校運営協議会委員（学識経験者）に相談しご了解をいただきました。

通知表は年2回に

夏休み開始日を8月1日に延ばし、授業日数を確保することにしました。それでも1学期の授業日は50日しかなく、学習の成果を評価するには期間が短いと考えています。そこで、今年度は通知表による評価を前期75日・後期105日の2期制とし、じっくりと教育活動に取り組むことにいたします。そのため、今年度は、1学期末と2学期末に通知表を持ち帰りません。

○通知表をお渡しする日

・前期… 10月 2日（金） ・後期… 3月23日（火）

○新学習指導要領の全面実施に伴い、各教科4観点※₁だった評価が、3観点※₂に改訂になりました。教員による所見の内容も昨年度までとは、変更となります。

○授業は、季節に合った3学期制を維持します。

※1 「関心・意欲・態度」「知識」「技能」「思考力・判断力・表現力」

※2 「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「学びに向かう力」

キャリアパスポート

1学期の最終日には、通知表の代わりにキャリアパスポートを持ち帰ります。キャリアパスポートとは、今年度から全ての小・中学校、高等学校で実施される、児童が自分の学習状況やキャリア※₃形成を見通したり、自分ができるようになったことを振り返ったりして、自己実現につなげるためのファイルのことです。このファイルは、これから先高校3年生まで持ち上がっていくもので、お子さんの成長の記録となります。

1学期にお子さんが、クラスの一員として頑張ったことやできるようになったことについて保護者の皆様に確認していただきたいと考えます。お子さんの成長を認め、励ます材料として活用してください。

※3 キャリア：人が、生涯の中で様々な役割を果たす過程で、自らの役割の価値や自分と役割との関係を見いだしていく連なりや積み重ね

今後の学校行事

学校行事の開催時期や内容を次のように変更いたします。

<7月>

- 9日(木) 学年懇談会
※3密回避のため、授業参観は行いません。
- 17日(金) 防犯の日の取組 一斉下校
- 18日(土) PTA奉仕作業(1回目)
※PTA奉仕作業は、年2回実施します。2回のうちどちらか1回参加していただくことになります。詳細については、後日お知らせいたします。
※例年行っているPTAウィークエンド活動は今後行いません。
- 31日(金) 1学期終業式
※給食は、31日まで実施します。



<8月>

- 1日(土) 夏休み開始
- 28日(金) 2学期始業式
- 31日(月) 教育実習開始



<9月>

- 7日(月) 5年生宿泊体験学習(～8日/妙高自然の家)
- 17日(木) 6年生修学旅行(～18日/長野方面)
※修学旅行は、1泊2日に短縮します

<10月>

- 3日(土) PTA奉仕作業(2回目)
- 17日(土) かがやき運動会
※3密回避のため、競技内容や運営方法を変更します。
※予備日は18日。両日雨天の場合は翌週平日開催となります。
- 22日(木) 第2回学校運営協議会
- 29日(木) 就学時健診



今年度は、文化祭を行いません。児童の学習成果発表(ワークショップ)やPTAバザー、昼食会場が3密になるからです。学習成果発表は、学年ごとに日を設定して分散開催とします。時期は11月以降となり、学年だよりでお知らせします。

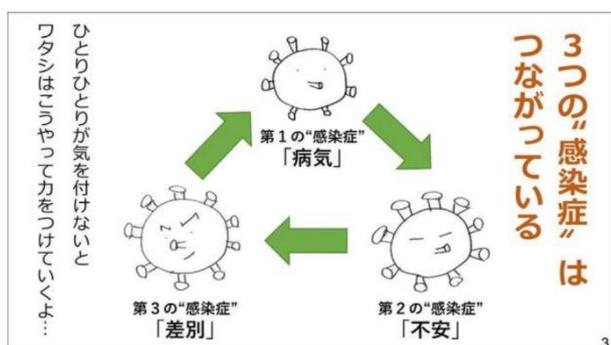
新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう

新型コロナウイルスは私たちの生活に大きな影響を与え続けています。それは健康面だけでなく私たちの心に知らず知らずのうちに影響を与えています。下記は赤十字社のHPの抜粋です。児童にもこれを基に指導を行いました。

ウイルスがもたらす第1の“感染症”は病気そのものです

ウイルスがもたらす第2の“感染症”は不安と恐れです

ウイルスがもたらす第3の“感染症”は嫌悪・偏見・差別です



この“感染症”怖さは、病気が不安を呼び、不安が差別を生み、差別が更なる病気の拡散につながることで。

第1の“感染症”をふせぐために

1人1人が衛生行動を徹底しましょう。

第2の“感染症”にふりまわされないために

気づく力を高める。まずは自分自身を見つめてみましょう。

- ・立ち止まって一息いれる
- ・今の状況を整理してみる
- ・自分自身をいろいろな角度から観察してみる。

聴く力を高める。いつもと違うところはありませんか？

- ・ウイルスに関する悪い情報ばかりに目が向いていませんか？
- ・なにかと感染症に結び付けて考えていませんか？

他2項目略

自分を支える力を高める。自分の安全や健康のために必要なことを見極めて自ら選択してみよう

- ・ウイルスに関する情報にさらされるのを制限し、距離を置く時間をつくる
- ・今自分ができていることを認める
- ・今の状況だからこそできることに取り組んでみる

他3項目略

第3の“感染症”をふせぐために

不安を煽ることば病気に対する偏見や差別を強めます

- ・「確かな情報」を広めましょう
- ・差別的な言動に同調しないようにしましょう。

この事態に対応しているすべての方々にねぎらい、敬意を払いましょう。

児童の活動の様子

ソーシャルディスタンスを意識していても、話し合ったり関わり合ったりするとどうしても距離が近くなってしまいます。しかし、みんなで同じものを見て感想を共有したり、膝を突き合わせて話し合ったりすることは、学びを深める上でとても重要です。オンライン授業や動画配信ではできない、学校に集まるからこそできる学習です。マスクの着用と換気を徹底して、できる限り通常どおり学習を進めています。



【3年生：校区探検】



【4年生：総合的な学習】



【6年生：1年生のお世話】

熱中症対策

はやくも気温が 30℃を超える日が出ています。子どもたちはマスクを着用しているので余計に暑さを感じています。熱中症にならないように次のような対応を取ります。

<p>○登下校○ マスクを外してもよい。 ただし、人との距離を十分にとる。</p>	<p>○体育○ マスクを外してもよい。 ただし、人との距離を十分にとる。</p>	<p>○室内温度○ エアコンを使用し、28℃を超えないようにする。 ただし、換気をこまめに行う。</p>	<p>○こまめに水分補給をする。 ○暑さ指数を確認し。活動の変更等を行う。</p>
---	--	--	--

気温 (参考)	暑さ指数 (WBGT)	熱中症予防運動指針	
35℃以上	31℃以上	運動は原則中止	特別の場合以外は運動を中止する。 特に子どもの場合には中止すべき。
31～35℃	28～31℃	厳重警戒 (激しい運動は中止)	熱中症の危険性が高いので、激しい運動や持久走など体温が上昇しやすい運動は避ける。 10～20分おきに休憩をとり水分・塩分の補給を行う。 暑さに弱い人※は運動を軽減または中止。
28～31℃	25～28℃	警戒 (積極的に休憩)	熱中症の危険が増すので、積極的に休憩をとり適宜、水分・塩分を補給する。 激しい運動では、30分おきくらいに休憩をとる。
24～28℃	21～25℃	注意 (積極的に水分補給)	熱中症による死亡事故が発生する可能性がある。 熱中症の兆候に注意するとともに、運動の合間に積極的に水分・塩分を補給する。
24℃未満	21℃未満	ほぼ安全 (適宜水分補給)	通常は熱中症の危険は小さいが、適宜水分・塩分の補給は必要である。 市民マラソンなどではこの条件でも熱中症が発生するので注意。

登下校中に具合の悪くなる児童が出てくるのが考えられます。下校の様子の見守りをよろしく願います。また、お気づきの点がありましたら、学校にお知らせください。

※暑さに弱い人：体力の低い人、肥満の人や暑さに慣れていない人など
(公財) 日本スポーツ協会「スポーツ活動中の熱中症予防ガイドブック」(2019)より